



## 2019年10月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年3月8日

上場会社名 ロングライフホールディング株式会社  
 コード番号 4355 URL <http://www.longlife-holding.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 正一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営本部長 (氏名) 瀧村 明泰

TEL 06-6373-9191

四半期報告書提出予定日 2019年3月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年10月期第1四半期の連結業績(2018年11月1日～2019年1月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年10月期第1四半期	3,253	2.7	35		60		189	
2018年10月期第1四半期	3,166	9.3	105	4.8	87		137	

(注) 包括利益 2019年10月期第1四半期 200百万円 ( %) 2018年10月期第1四半期 146百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年10月期第1四半期	18.49	
2018年10月期第1四半期	13.44	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年10月期第1四半期	17,137	2,849	16.6	278.46
2018年10月期	16,609	3,132	18.9	306.08

(参考) 自己資本 2019年10月期第1四半期 2,849百万円 2018年10月期 3,132百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年10月期		0.00		8.00	8.00
2019年10月期					
2019年10月期(予想)		0.00		8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年10月期の連結業績予想(2018年11月1日～2019年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,620	3.8	150	15.3	110		55		5.37
通期	14,100	9.6	420	42.1	340	764.4	85		8.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年10月期1Q	11,190,400 株	2018年10月期	11,190,400 株
期末自己株式数	2019年10月期1Q	955,605 株	2018年10月期	955,605 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年10月期1Q	10,234,795 株	2018年10月期1Q	10,234,795 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前年末に米国における株安の影響を受け、わが国の証券市場においても株価が乱高下する混乱が見られたものの、国内雇用情勢は人手不足を背景として、正規雇用者、非正規雇用者ともに改善傾向にあり、引き続き緩やかな回復基調が続いております。

介護サービス業界においては、政府が「一億総活躍社会」の実現に向けて介護離職ゼロの方針を掲げ、介護施設の整備・増設対策を打ち出す一方、サービスの担い手である人材の確保について厳しい状況が続いております。

当社グループは、次世代の担い手となる人材に対して、多様な働き方や職場環境を提供するため、ワークライフバランスの適正化や研修制度の充実、処遇改善、海外進出等の取り組みを行ってまいりました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は32億53百万円（前年同期比2.7%増）と増収となりましたが、営業損益は前連結会計年度後半に開設した施設の固定費増などにより35百万円の損失（前年同期は1億5百万円の営業利益）となり、経常損益は60百万円の損失（前年同期は87百万円の経常損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は減損損失94百万円を計上したことなどにより1億89百万円の損失（前年同期は1億37百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、2018年5月1日付のエルケア株式会社からロングライフファーマシー株式会社（現ロングライフメディカル株式会社）への医療関連事業の承継に伴う損益管理区分の見直しを行い、前第3四半期連結会計期間より、従来まで「在宅介護事業」の区分としていた医療関連事業を「その他」の区分に変更しております。

#### ①ホーム介護事業

ホーム介護事業につきましては、当第1四半期連結会計期間末におけるホーム数は23ホームで居室総数は987室となっております。ホーム介護事業の運営体制の効率アップ並びにブランディング活動等の営業強化により、入居率の引き上げに注力しております。

ホーム介護事業の売上高は11億34百万円（前年同期比4.9%増）、経常損失は78百万円（前年同期は17百万円の経常損失）となりました。

#### ②在宅介護事業

在宅介護事業につきましては、当第1四半期連結会計期間末におけるサービス数は133サービスとなっております。事業拠点の見直しによる収益力の向上並びに障がい支援サービス等の介護保険適用外サービス獲得のための活発な営業活動を行っております。

在宅介護事業の売上高は13億82百万円（前年同期比2.4%減）、経常損失は18百万円（前年同期は2百万円の経常利益）となりました。

#### ③福祉用具事業

福祉用具事業につきましては、福祉用具の販売・レンタル、住宅改修の専門企業として、お客様の日常生活の自立を支援するサービスを提供しております。

福祉用具事業の売上高は3億63百万円（前年同期比9.3%減）、経常損失は6百万円（前年同期は7百万円の経常利益）となりました。

#### ④フード事業

フード事業につきましては、主に当社グループが運営する有料老人ホーム等に食事を提供しております。また、オリジナル商品の販売等によるグループ外への営業強化に注力することで、ブランド力の向上に努めてまいりました。

フード事業の売上高は21百万円（前年同期比8.5%減）、経常利益は2百万円（前年同期比76.1%減）となりました。

#### ⑤リゾート事業

リゾート事業につきましては、函館、箱根、由布院、石垣島の全国4拠点において会員制リゾートホテルの運営を行っております。

リゾート事業の売上高は1億11百万円（前年同期比73.7%増）、経常損失は16百万円（前年同期は20百万円の経常損失）となりました。

#### ⑥その他

その他につきましては、調剤薬局事業及び医療関連事業を行う連結子会社の「ロングライフメディカル株式会社」、国内外企業への投資及びコンサルタント事業を行う連結子会社の「ロングライフ国際事業投資株式会社」(現ロングライフグローバルコンサルタント株式会社)及び「朗楽(青島)頤養運営管理有限公司」の3社により構成されております。

当セグメントの売上高は2億38百万円(前年同期比33.3%増)、経常利益は0百万円(前年同期は8百万円の経常損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億27百万円増加し、171億37百万円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末より41百万円増加し47億58百万円となりました。その主な内訳は、預け金が39百万円増加したことによるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末より4億86百万円増加し、123億78百万円となりました。その主な内訳は、有形固定資産が4億72百万円、のれんが34百万円それぞれ増加したことによるものであります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末より70百万円減少し、76億3百万円となりました。その主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金が50百万円、未払金が2億57百万円それぞれ増加し、短期借入金が3億81百万円、前受金が53百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末より8億80百万円増加し、66億84百万円となりました。その主な内訳は、長期借入金が8億92百万円増加したことによるものであります。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ2億82百万円減少し、28億49百万円となり、自己資本比率は16.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月期の業績予想につきましては、2019年3月6日付で公表しました「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」の内容をご参照お願いいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年1月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,279,263	1,274,104
受取手形及び売掛金	1,682,523	1,677,753
たな卸資産	217,871	219,812
預け金	1,140,345	1,179,586
その他	409,351	419,372
貸倒引当金	△11,732	△11,732
流動資産合計	4,717,622	4,758,895
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	8,809,438	8,596,938
減価償却累計額	△2,977,119	△2,898,653
建物及び構築物 (純額)	5,832,318	5,698,285
車両運搬具	16,807	16,606
減価償却累計額	△11,213	△11,581
車両運搬具 (純額)	5,594	5,024
工具、器具及び備品	799,330	764,572
減価償却累計額	△487,144	△467,608
工具、器具及び備品 (純額)	312,185	296,964
土地	3,679,322	3,679,322
リース資産	340,413	340,413
減価償却累計額	△307,074	△311,430
リース資産 (純額)	33,338	28,982
建設仮勘定	914,418	1,541,252
有形固定資産合計	10,777,178	11,249,832
<b>無形固定資産</b>		
のれん	—	34,533
その他	46,499	44,475
無形固定資産合計	46,499	79,008
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	126,031	102,482
関係会社株式	0	0
差入保証金	740,594	741,867
長期前払費用	57,097	56,463
繰延税金資産	20,104	20,252
その他	124,605	128,831
投資その他の資産合計	1,068,433	1,049,897
固定資産合計	11,892,111	12,378,738
資産合計	16,609,734	17,137,633

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	191,102	195,415
短期借入金	551,200	170,000
1年内返済予定の長期借入金	378,660	428,660
リース債務	14,475	11,945
未払金	396,653	653,660
未払費用	585,298	574,931
未払法人税等	20,546	36,697
前受金	5,353,030	5,299,072
賞与引当金	96,536	88,926
契約解除引当金	14,554	11,642
その他	71,653	132,439
流動負債合計	7,673,710	7,603,389
固定負債		
長期借入金	5,540,135	6,432,370
リース債務	17,353	14,885
繰延税金負債	22,016	15,523
退職給付に係る負債	99,728	106,266
資産除去債務	112,905	102,517
その他	11,197	12,744
固定負債合計	5,803,336	6,684,306
負債合計	13,477,046	14,287,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金	3,245,695	2,974,587
自己株式	△251,175	△251,175
株主資本合計	3,094,520	2,823,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,742	28,512
為替換算調整勘定	△2,575	△1,987
その他の包括利益累計額合計	38,167	26,524
純資産合計	3,132,687	2,849,937
負債純資産合計	16,609,734	17,137,633

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)
売上高	3,166,359	3,253,022
売上原価	2,474,001	2,618,332
売上総利益	692,358	634,689
販売費及び一般管理費	586,962	670,023
営業利益又は営業損失(△)	105,395	△35,334
営業外収益		
受取利息	20	24
受取配当金	559	637
受取保険金	108	1,467
その他	1,501	4,534
営業外収益合計	2,190	6,664
営業外費用		
支払利息	19,878	21,034
支払手数料	144,235	6,647
租税公課	19,722	—
持分法による投資損失	128	—
その他	11,098	4,120
営業外費用合計	195,063	31,801
経常損失(△)	△87,477	△60,471
特別損失		
減損損失	—	94,186
投資有価証券評価損	—	5,323
その他	1,151	3,821
特別損失合計	1,151	103,330
税金等調整前四半期純損失(△)	△88,629	△163,801
法人税、住民税及び事業税	10,331	25,609
法人税等調整額	38,604	△182
法人税等合計	48,936	25,427
四半期純損失(△)	△137,565	△189,229
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△137,565	△189,229



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)
四半期純損失(△)	△137,565	△189,229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,081	△12,230
為替換算調整勘定	920	587
持分法適用会社に対する持分相当額	128	—
その他の包括利益合計	△9,032	△11,642
四半期包括利益	△146,597	△200,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△146,597	△200,871
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年11月1日 至 2018年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ホーム 介護	在宅介護	福祉用具	フード	リゾート	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,081,186	1,417,697	400,251	23,625	64,395	2,987,156	179,203	3,166,359
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	443	13,162	160,510	314	174,430	4,753	179,184
計	1,081,186	1,418,141	413,413	184,136	64,709	3,161,587	183,957	3,345,544
セグメント利益又は 損失(△)	△17,607	2,084	7,442	11,241	△20,675	△17,513	△8,169	△25,683

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局事業、医療関連事業及び投資事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	△17,513
「その他」の区分の損失(△)	△8,169
未実現利益の調整額	35
全社損益(注1)	△64,456
その他(注2)	2,626
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△87,477

(注) 1. 全社損益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料及びグループ管理に係る費用であります。

2. その他は、主に報告セグメントに帰属しない会社(持株会社である当社)に対する取引高の消去であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ホーム 介護	在宅介護	福祉用具	フード	リゾート	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,134,660	1,382,986	363,073	21,610	111,858	3,014,189	238,832	3,253,022
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	900	818	23,522	163,788	340	189,369	3,688	193,058
計	1,135,560	1,383,804	386,596	185,399	112,199	3,203,559	242,521	3,446,081
セグメント利益又は 損失(△)	△78,812	△18,014	△6,284	2,688	△16,248	△116,671	610	△116,060

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局事業、医療関連事業、投資及びコンサルタント事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△116,671
「その他」の区分の利益	610
未実現利益の調整額	35
全社損益(注1)	56,354
その他(注2)	△801
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△60,471

(注) 1. 全社損益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料収入及びグループ管理に係る費用であります。  
2. その他は、主に報告セグメントに帰属しない会社(持株会社である当社)に対する取引高の消去であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

2018年5月1日付のエルケア株式会社からロングライフファーマシー株式会社(現ロングライフメディカル株式会社)への医療関連事業の承継に伴う損益管理区分の見直しを行い、前第3四半期連結会計期間より、従来まで「在宅介護事業」の区分としていた医療関連事業を「その他」の区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の方法に基づき作成しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間にて、ホーム介護事業において87,132千円の減損損失を計上しており、また、その他セグメントのうち調剤薬局事業において7,053千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

その他セグメントのうち調剤薬局事業において、ロングライフメディカル株式会社が株式会社ユウシンメディックの調剤薬局事業を吸収分割により承継したことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては35,724千円であります。